



日本医療機能評価機構

伊奈病院は

(財) 日本医療機能評価機構の

認定病院です

## 理念

私たちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さまに信頼される病院をめざします。

### 理念の実行方法

1. 私たちは、十分な説明と同意に基づき分かりやすい医療を実践します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、職員が一体となったチーム医療を実践します。
3. 私たちは、患者さまの意思・権利・プライバシーを尊重し、思いやりのある医療を実践します。
4. 私たちは、地域に信頼される病院を目指すとともに、職員としての誇りを持つる職場を作ります。
5. 私たちは、健全で効率的な病院経営基盤を確立し、地域の基幹病院としての使命を遂行します。

## 新任看護部長代行 三須真紀

看護部長代行 三須真紀



平成27年7月1日付けで、看護部長代行の職務に就かせていただくことになりました。三須真紀と申します。看護部の理念である【思いやりのこころ】と【笑顔】を基本に、地域の皆さまに「伊奈病院で良かった」と思っていただける病院を目指しています。看護の本質を追究し、知識・技術・態度を磨き、患者さまを第一に考えた看護を提供してまいります。

現在まで看護師として伊奈病院に長年勤務させていただいた中で、一番支えになったことは患者さま、ご家族さまからのあたたかい言葉の数々です。フローレンス・ナイチンゲールは、「天使とは、美しい花をまき散らす者ではなく、苦悩する者のために戦う者である」と言っています。私たち看護師は、患者さまに一番近い場所にいると思います。共に喜び、時には涙でいる存在でありたいと思います。病院では日々診察や手術が行われている中、伊奈病院に来られたたった一人の患者さま、ご家族さまであることを意識して、誠意をもって笑顔で看護を行っていきたくと思っています。

伊奈町唯一の二次救急を担う病院として、断らない救急対応を目指し、多職種間で連携を図りながら、入院から退院まで安心して過ごしていただけるように努力してまいります。これからもよろしくお願いたします。

# 伊奈



# 連載「骨が強くなる話」

こつしょうしょう  
伊奈病院骨粗鬆症リエゾンサービス委員会

## その2 骨粗しょう症の薬について

伊奈病院薬剤部 菱沼 沙弥香

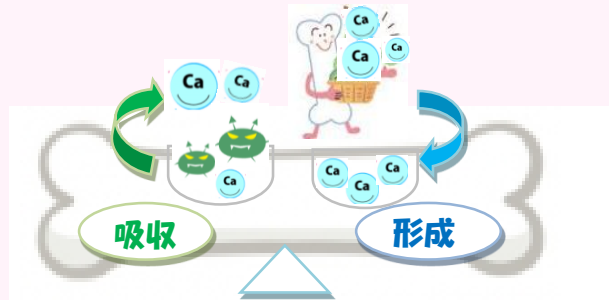
### 骨粗しょう症の治療にはお薬が大切

骨粗しょう症の発病には、加齢や閉経以外にも食事や運動の習慣などが深く関わっています。そのため骨の生活習慣病とも呼ばれ、食事療法や運動療法も骨粗しょう症の予防には欠かせません。しかし、骨粗しょう症と診断された場合にはお薬による治療が大切です。骨粗しょう症治療の目的は、骨折を予防し、この先長く、日常生活を快適に過ごすことができるようにすることです。最近では、骨粗しょう症による骨折が、早期治療により予防できるようになっています。

### 骨の新陳代謝のはなし

あまり変化しないように見える骨も、実はたえず新陳代謝を繰り返しています。つまり、古い骨は溶かされて（「骨吸収」）、新しい骨が作られて（「骨形成」）いるわけです。

新陳代謝のバランスがくずれ、骨の破壊がどんどん進んで、新しい骨の形成が追いつかなくなるとろいスカスカの骨になり、骨折しやすくなります。



### 骨粗しょう症治療薬

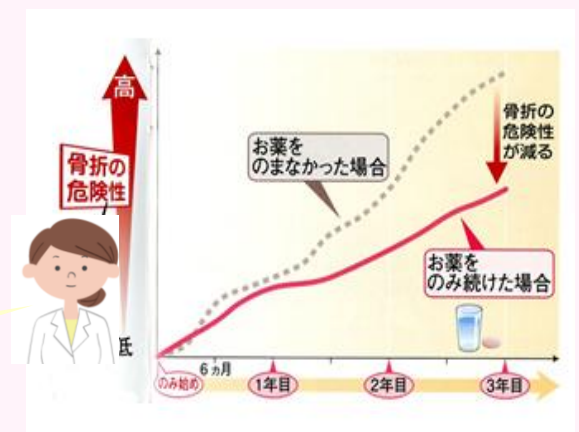
薬剤分類名	特徴
ビスホスホネート薬	骨を壊す細胞の働きを抑えて、骨を壊れにくくします。毎日服用する薬や、週1回、月1回服用する内服薬や月1回の点滴があります。
サーム	骨に対して女性ホルモンと同様に作用し、骨のカルシウムが体内に溶けだすのを抑えます。
抗ランクル抗体	骨の成分を溶かす体内の働きを抑え、骨を壊れにくくする6カ月に1回の注射薬です。
副甲状腺ホルモン薬	骨の新陳代謝を促進し、新たな骨を作る作用があります。週に1回病院で注射する薬や、毎日じぶんで注射する薬があります。
活性型ビタミンD薬	腸からのカルシウム吸収を助け骨を強くします。カルシウムは他の栄養素に比べて、体の中に吸収されにくい栄養素で、吸収を高めるためにもビタミンDが必要となります。

### お薬は継続することが重要

薬物治療によって骨密度の値は改善されても、薬をやめると骨密度は低下してしまいます。きちんと治療を続けることが重要です。ただし、骨粗しょう症の治療薬の中には、途中で休みを入れながら服用するものがあります。また、薬物治療によって十分に骨密度が回復した場合、治療を終了する場合があります。その判断は、医師が患者さまの体の状態を十分把握しながら行います。

気になる方は整形外科で相談を！

**お薬をのみ続けると骨折の割合  
が少なくなるんですね**



次回は、運動についてです。

## ≪ 地域医療連携にご協力頂いている先生方をご紹介します ≫

### 【鳥山こどもクリニック】

院長 鳥山 義仁



平成 10 年秋に小児科専門のクリニックを開業しました。来院される患者さまの大部分は感染症です。インフルエンザ流行期などは、待合室での院内感染対策が重要となります。高熱の患者さまは自家用車の中で待っていただいておりますが、自転車や歩きの患者さまにはこの対応は適応できません。今となっては狭くなった診療スペースに分散隔離し、診察待ちをしていただいています。職員の休憩室を臨時的待合室にしたこともありました。そこで予約診療を導入しました。患者さまからは、冬の時期は予約が取れないと不評です。点滴採血処置や入院先病院探しがなければ、多少の余裕はありますので直接電話で問合せをお願いします。発達などの相談を希望される方は昼休み時間帯を使って対応しますので直接連絡を頂くと助かります。感染症以外では、耳鼻科疾患・皮膚科疾患・眼科疾患・整形外科疾患などがあります。これらの疾患については、伊奈病院をはじめとする地域連携病院の各科先生に大変お世話になっており、助かっております。

平成 28 年 12 月には岩槻区にある県立小児医療センターは、新都心駅近くに移転の予定です。センター移転によって、当地域の小児科連携が大きく変化すると推定されます。当院も新しい連携を構築すべく努力しているつもりです。

#### 診察受付時間

今後ともよろしくお願いたします。

#### ◇住所◇

埼玉県北足立郡伊奈町大針向原  
957-4

TEL : 048-723-5557

受付時間	月	火	水	木	金	土
9 時～12 時	●	●	●	—	●	—
9 時～13 時	—	—	—	—	—	●
14 時 30 分～18 時	●	●	●	—	●	—

休診日：木曜日、日曜日、祝日

### 【尾崎内科クリニック】

院長 尾崎 隆彦



伊奈町で約 35 年、診療、健診、予防接種等にたずさわってきました。そして平成 18 年より伊奈町本町に尾崎内科クリニックを開設しました。

現在、当クリニックではホームドクターとして小人から大人までさらに施設に入所されている御高齢の方々まで幅広く診療にあたっていますが、今後もさらに同様に従事していきたいと考えております。

診療の中で、さらに精査加療を必要した場合に今まで伊奈病院にはいろいろと御世話になってきました。今後も伊奈病院とは診療連携を通して、患者さんのニーズにあった地域医療をすすめていきたいと思っております。

#### ◇標榜科◇

内科・小児科

#### 診察受付時間

#### ◇住所◇

埼玉県北足立郡伊奈町本町  
1-289-1

TEL : 048-720-1701

受付時間	月	火	水	木	金	土
8 時～12 時	●	●	●	●	●	—
8 時～12 時	—	—	—	—	—	●
15 時～18 時 30 分	●	●	●	●	●	—

休診日：日曜日、祝日

## 放射線の窓 No.2

放射線科 岩切 翔次郎

放射線技師としてレントゲンやCT撮影で放射線を取り扱っていて、時おり患者さまから被ばくに関して質問を受けることがあります。例えば、お子さんを持つ親御さんから「レントゲンを撮影して子どもの被ばくは大丈夫ですか?」と聞かれることがあります。

子どもは、体全体が成長しているため細胞分裂（増殖）が活発です。放射線の影響は、細胞分裂が活発なほど強く現れますので、大人より子どもの方が影響があるといえます。しかし、検査や診断で使われる放射線の線量は、少ない線量に抑えてあるので心配はありません。また、大人でも細胞分裂が盛んな部位、生殖腺、水晶体、骨髄などは影響が大きいといえます。しかし、放射線の影響はある程度まとまった線量を超えなければ、起きないといわれています。

例えば、一度に高線量の放射線を生殖細胞が受けることで不妊症が起こることがあります。一時的な不妊は男性150mGy ※以上、女性650mGy で起こり、数か月で元に戻ります。永久的な不妊は男性3500mGy 以上、女性2500mGy 以上で起こります。遺伝的影響は、一度に生殖細胞に2000mGy 以上の高線量を受けると、起こる可能性があります。水晶体の混濁は、一度に眼に500mGy 以上受けると白濁が起こり、2000mGy 以上で白内障が起こります。

腹部CTにおける生殖腺の被ばく量は、子ども（3～15歳）が約4mGy、大人が約25mGy です。

**通常のX線検査において、上記の線量を超えるような大線量を受けることはまずありえませんが、過度に心配する必要はありません。**

※ mGy：ミリグレイ

### 医療安全週間

医療安全週間とは厚生労働省より「患者の安全を守るための共同行動（PSA）」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、国民の理解や認識を深めることを目的として設けられました。

伊奈病院では、この取り組みの一環として、安全な医療を受けるためのポイントをポスターにして掲示しています。ご理解を深めていただく為に【診療を受けられるみなさまへ】のポスターを参考に、下記のパズルに挑戦ください。

- ① 治療や処置の前に患者さまに間違いがないか確認するために行います
- ② 処方される薬が、内服薬と合わない物がないかを確認するために必要な手帳。調剤薬局で発行されます
- ③ 毎月、最初に来院されたときに確認させていただきます。身分証明としても使われます
- ④ お名前での呼び出しをさせていただく目的は、〇〇〇〇・安全確保のためです
- ⑤ ポスターのサブタイトル「〇〇な医療を受けるためのポイント」
- ⑥ ①の確認の際に、同姓同名の方もいらっしゃるのを併せて確認させていただきます。
- ⑦ 診断書などに記載されることがあります。

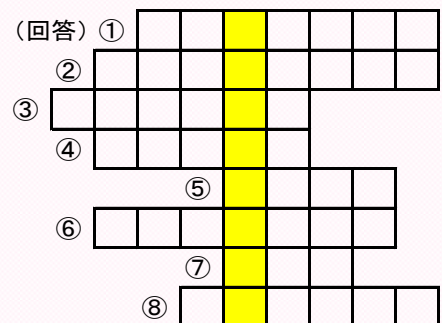
「〇〇2週間の見込み」など

- ⑧ 自動再来機で受付をする時に必要なもの

※ ひらがなで回答し、黄色の枠に入る文字を①～⑧の順に並べてください

※ 【診療を受けられるみなさまへ】のポスターは、受付・会計待合室、

外来待合室へ向かう通路に掲示されています。



答え

(正解は2ページ下)

ハ  
ー  
モ  
ニ  
ー  
六  
十  
二  
号  
平  
成  
二  
十  
七  
年  
十  
月  
発  
行  
医  
療  
法  
人  
社  
団  
愛  
友  
会  
伊  
奈  
病  
院  
発  
行  
伊  
奈  
病  
院  
広  
報  
部  
会  
編  
集



医療法人社団愛友会 伊奈病院

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9419

TEL : 048-721-3692(代)

ホームページ :

<http://www.inahp.saitama.jp>

伊奈病院  
携帯サイト

右記のQRコードより  
アクセスしてください。

<http://www.inahp.saitama.jp/mobile/>



公式 facebook ページ : <http://www.facebook.com/inahospital>